

News Fujimi



鬼(邪気)を追い払い・福を呼び込む

◆町内保育園 豆まき(写真:本郷保育園)

2月3日(金)一年の無病息災を願い、豆まきが行われました。「鬼」の登場に、泣き出してしまう園児、果敢に豆をぶつけ友だちを守ろうとした園児と様々でした。しかし、最後にはみんなの所に「福の神」が来てたくさん「福」のプレゼントをもらいました。



西伊豆町と「スキー」で交流

◆小学校5年生が再会

2月3日(金)富士見高原スノーリゾートにおいて、西伊豆町児童と富士見町児童とが「スキー」を通じて、交流を深めました。児童の一人は、「夏に西伊豆町の海岸で知り合った友達と再会できてうれしい。今度はスキーを通じて一層仲良くなり、いつまでも友達でいたいです」と、元気よく話していました。予定した日程は、けが人もなく無事に終了しました。



仲間の晴れ舞台に「笑顔で拍手」

◆富士見町 高齢者クラブ連合会演芸会

2月11日(土)富士見グリーンカルチャーセンターで富士見町高齢者クラブ連合会演芸会が行われました。当日は町内18クラブの内、12クラブの参加により、39のプログラムを楽しみました。終日、踊りやカラオケ、演歌体操、詩吟など元気に披露し合い、日頃の練習の成果をお互いに観賞しながら地区の枠を超え、「交流」を深めました。



災厄を代わりに引き受ける「守り神」

◆雛人形飾り(写真:富士見保育園)

3月3日は「桃の節句」などと言われ、厄を人形に移して祓った「流し雛」の風習がありました。現在はそれらが発展し、雛人形を飾り、女の子の健やかな成長と幸せを願う「雛祭り」となりました。最近では、子供たちの「心の問題」などが取り沙汰されています。お子様たちの「心」を満たしてあげられる四季折々の心豊かな行事を、大切に伝えていきましょう。

